

# 千成大火であぶり出された ドヤ財閥の もうけぶり



↑ 火事の翌日行なわれた現場  
検証(3月11日朝)  
← 彼岸に開設された「身元不  
明者相談所」の入口に張り  
出された掲示(3月21日・  
四天王寺)

好評  
2  
大  
運  
載

資料・第一次釜ヶ崎暴動 その五、蜂起昂揚編 ▲岩田秀一編▽……………49頁

釜ヶ崎手帖(5) — 一番岸いめし屋 『しん平』……………46頁

『読者の声』にかわって…45頁、とせいでんごんぼん…48頁、編集後記…64頁

特集II

この冬、シノいだ シノグロ生きる……………34~44頁

シノギかた全書 / 経歴者は語る(アンケートハガキから)  
— 哀悼のページ(シノギまきれなかつた人たちに…) —

特集I

「千成」大火であぶり出されたドヤ財閥のもうけぶり……………3~33頁

五年前もこんども不法建築、焼け死んだばかりに代って  
— 口の重く被害者たち / 消防署員にインタビュー、火事  
・ドヤ・労働者の関係について / ドヤ財閥 山田一族の伝  
説と現実(写真でみる山田一族葬邸めぐり) / 一族、その  
肥り方はまだある(山田一族ドヤ名鑑)

# 特集・千成火事 その一

## 五年前もこんなにも不法建築 焼け死んだなにかまたちに代って

—異常乾燥注意報が解除され本ッ  
とした矢先の三十一日夜、大阪・西  
成区のおいりん地区で消防署専門の  
簡易宿泊所が焼け、片務者四人が焼  
死体となってみつかった。この宿泊  
所は、一人でも多く早く収容するた  
め、各階を中二階構造にしたうえ仕  
切りはベニヤ板。しかも非常口もな  
く市消防局から再三にわたって警告  
を受けていた。又簡易宿泊所。人  
災の犠牲となった四人の片務者の  
身元はわからない。

よく注意して読めばわかると思うが、  
これは去る三月十日早朝におこった  
千成ホテル火事のことについての文章で  
はない。この文章は五年前の二月一日付  
サンケイ新聞、社会面下への記事の

はじめの部分なのである。

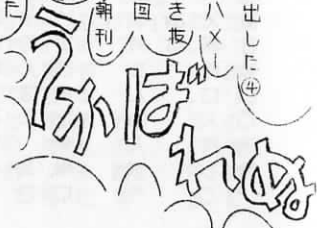
一九七〇（昭和四五）年一月三十一日、午後  
七時半、宿泊者が使っていた火器がタバコの  
火の原因で二階から出火、宝ホテル（現マン  
ター向い）山田志げ経営）は二階以上をほぼ  
全壊したのである。この時のことをもって当  
時の新聞記事をひらいてみよう。

### 人命野良のもうけ主義

—焼けた「宝ホテル」もおいりん地区神  
持の、階層式高層ホテルの一つ。外観は三  
階建だが客室を倍増させるため一階を二階に  
分け、実質四階建。西成消防署は、  
四人もの焼死者を出したことに  
いて各階への出入口が一方所し  
かなかつた②構造上四三階にばつて  
な成ら、三階の軒下はいずれも上下の  
部屋に通じるという複雑な構造③新選

## ホテルたち

社などの利用で大量の煙を出した④  
幅約十八メートル、奥行約ハメ  
トルの建物の中央部分が吹き抜  
けになっていたので、火の回  
りも早かった。（朝日45分朝刊）



—急に鉄サク、狭い階段  
回廊は三十九年に造られた  
のに、西成消防署の調べでは使用申請が出て  
いず、消防法上は、もろり営業。回廊の壁の  
話では立入り検査をするに使用許可をさる状  
態ではなかったこと。（毎日・朝刊）

所々のなかには、市建築局の完工検査をさ  
けていないのに壁タタキもろり営業を続け  
るものもある。一部改造して検査を受ける  
ものの相違も指摘されたままだ。また、鉄  
筋コンクリート四階建てのビル旅館という  
建築申請を許可したところ、さきあげたホ  
テルは六階建。一人でも多くの片務者をつ  
めこもうと勝手に内部を改築しているの。こ  
こにしがあつたがなくならないう限り、ひ  
び出火すれば必ず犠牲者が出る仕組みにな  
つていのが実態だ。（サンケイ・朝刊）

よく似ているというより今度の千成  
の火事と全く同じ事を当時の新聞は報  
道している。いくら火事が起こっても  
同じことしか書けないのが新聞記事で  
同じことしか言えないのがマスコミ監  
査するお夜新なのだ。同じ日のサンケイ  
新聞には興味を引く記事がある。

—さしきんできた。マンモス宿泊

### 千成ホテルあれこれ①

★登記簿上は——①種類・簡易  
旅館兼物産②構造・鉄骨造壁屋根  
一部壁給×××鉄骨造4階建③床面積  
—1階～3階各141.92㎡、4階77.  
39㎡、計503.15㎡  
★実際は——7階建、床面積—  
計1337㎡  
★所有者は——持分3名・山田博  
美、持分2名・山田嘉文（土地も同じ）  
★千成を抵当（担保）にして永和  
信用金庫山王支店から借った金額は、  
借費400万、借文230万、共630  
00万、計1億1千万円ナリ。  
★千成を担保しているだけじゃ  
なければならぬ税金（都市計画税、  
固定資産税）は——43万709円（  
前年度3296万5千円）  
★昭和40年1月15日—建築の日、  
同年10月28日—建築確認申請、同年  
12月—環境保健局の営業許可、44年  
8月—建築局、消防局の立入り検査  
違反是正勧告、46年4月49年4月  
の立入り検査、勧告もすべて無視  
そして50年3月10日火事（死者4）

## 特集・千成火事 その二

この記事という、マンモス宿泊所がどの  
ドヤであるのか、その事実関係からみては  
まきりしているだろう。そしてこの二つのドヤ  
(宝、千成)、そして焼死者の数まで同じと  
いう悲惨な火事。この両者を必ずびつけるも  
の、そしてその真の原因、それはなにか。そ  
れは、がめつさで肥え太って行つた山田一  
族のあくどい、ドヤ商法、なのである。

### 口の重い被害者たち

千成火事では、重傷二人、重軽傷五  
九人が出たと新聞記事は報じている。  
計六一人のうち、3/4の人は二、三日  
の入院で退院することができた非常に  
幸運な人たちであった。  
三月末現在、いまなお三人の人がバ  
ッドに伏したままである。  
そのうちの一人、X病院に入院して  
いるYさんだ。すね話を聞いてみた。

「はいYさん、もつとも、つきまきりの看病を  
している母親がいまもすまきはにけるのだから  
無理のない話かもしれない。」

「いまごろ何を言うこのつ。一銭の銭が  
入るわけでもないし……あの哲学者人おに  
いに、昔のもう忘れ巨ハスの事を根掘り葉  
掘り書かれたりしているのをみるとのお。  
どういうYさんは、むしろ母親に自分のこ  
とを知られたくないというのが本心かも知れ  
ない。火事当時の直接体験をまきに行つたこ  
とがかえつて、Yさんの気を重くしたように  
マスコミは「哲学者老人」の過去のことをし  
つように書いてくれた。そしてそのことは、結  
果としてYさんをはじめとする千成火事の被  
害者たちを誇れなくしてしまつたのではない  
だろうか。」

「早々にYさんのもとから帰らざるを得なか  
つたが、マスコミが人の「指」を五まで一  
まるで内蔵をくちなしでひっけり出してつい  
ばむハゲケカのように題えた一日であつた。」

**千成ホテル あれこれ②**

さて、——  
どのくらいもうかっているのだ  
ろうか？

☆まず客室 (328室) な5  
1室300円計算で  
300円×328=958400円  
☆こんどの火事の当日は  
179人ばかり  
300円×179で、水あけ5万  
3700円

★1日200人平均とみて  
1カ月で水あけ 186万円  
1年で水あけ 2190万円  
★もつければ？  
これから、必要経費 (電気代、  
管理人の給料など) 税金を引く。  
(山田さんに聞いてよ——!?)

Yさんは、千成ホテル火事  
の被害体験を新聞記者に話  
してため、その報道がもとで十年以上合わな  
いでいた母親と再会することになつてしまつ  
た人である。

マスコミによつてあまりにも有名にさせら  
れてしまった「哲学者老人」のことが原因であ  
つた。尋ねていつてもけけんそうな顔で迎え  
られてしまう。「被害者渡世」Yさんに接  
し今昔の特集の趣旨も説明して、何とか納得  
してもらふことはできた。しかしまじ口の

千成ホテル火事の焼死者四人のうち、  
まだ一人の身元がわかつていない。毎年  
彼岸に四天王寺さんで麻管鑑識課が行な  
う身元不明者相談所でもその人の縁者探  
しが行なわれていた。

- それによると
- ▶年令 四〇〜五五才
- ▶身長 一五〇センチ
- ▶氏名 山本某

▶特徴 ヤセ型面長、リンパ腺結核  
山本某さんは五階の廊下で死んでいた  
のであり、管理人の室田の話によると中  
ヤンブル好きであつたという。死体は見  
るも無様な黒コゲであつた。  
黒コゲにされたうえ、解剖でゆりまど  
まれすてに無縁仏として葬り去られた。山  
本某さんの遺体は、今なお何かを我々に語  
りかけているのではないだろうか。  
焼死者たちよ、大いに語れ!